

第6章 今後の課題

第6章 今後の課題

委員会においてアイテム教材の登録の結果について次のような意見が挙げられた。これらに対しての今後の方針、方向性と併せて述べることとする。

1) 教材作成を、行う体制をどう整えるかが、課題である。

従来の教材作成は、施設毎に作成数を決め依頼していた。今回の研究では協力という形であったので、作成自体が任意であった。この方法で教材登録が十分に行えるかどうか検討すべきである。

2) 機構のいろいろなホームページとの関係、役割が分かりづらい。

施設に向けての十分な説明が必要である。

3) 教材登録の操作について問題点がある。

教材登録に関して出された意見のまま記述する。

- ・教材登録は、初めての方は不安感を持たれるのではないか。
- ・添付ファイルには、注意が必要
- ・教材の仮登録の際に、メッセージの表示と、削除の場合には削除のメッセージを表示して欲しい。
- ・誤って登録するのを防ぐ確認画面が必要ではないか。
- ・登録の場合、再確認のメッセージが必要ではないか。
- ・確認の次に登録画面が表示される方がよい。
- ・教材登録機能を、使いやすくすべきである。
- ・2枚程度の簡単な説明表によるマニュアルがあった方がよい。

以上の意見から、教材登録機能を、わかりやすくするための方法を再検討することとする。

4) 教材の登録に関して容量の大きいものは、分割して登録せざるを得ない。

施設により通信速度に差がある。通信速度の遅い施設でも、対応できる容量で教材の大きさを設定すべきである。もちろん数MBのデータは、通信速度の速い施設でも時間がかかる。

3) を含め、インターネット上でデータを転送することについての、基本知識の習得方法について検討すべきである。

5) アイテム教材を作成するのが難しい。

指導員が持っている教材は、ひとまとまりのテキストであることが多いので、これを分割し登録することになる。今回の教材登録でも、アイテム教材の考え方とは異なる大きな教材の登録が多々見られた。

平成12年度の新規教材作成および平成13年度の機構内での試行をふまえ、運用について以下の点が今後の検討課題になる。

1) 教材作成登録について

- ・教材募集の方法
- ・既存のデータ（研究センターで蓄積された教材）の活用

2) 新規教材作成の体制整備について

- ・新規教材作成を行う時のリーダーの役割
- ・新規教材作成ページの作成・更新作業

3) サイト管理の業務体制について

- ・アイテム教材の保守・管理作業
- ・掲示板等の保守・管理作業
- ・利用者（全体、系ごと）へのメールの配信作業
- ・ページの構成・改訂について検討作業

4) 県、民間指導員の参加について